



November 16, 2015

先日、提携しているエンジェル投資グループ(Rockies Venture Club)が主催する、コロラドのIoT関連のベンチャーによるピッチのイベントがありました。IoT関連の情報は日本の方々も興味があるとの事でしたので、参加したベンチャーのご紹介をさせていただきます。

Yonomi (<http://yonomi.co/>): ハブを使わずに主に個人宅内のIoT機器を操作できるクラウド型サービス。Targetのサンフランシスコ店で特別デモ体験コーナーが試験的に行われています。

mcSquares (<http://www.mcsquares.com/>): スマートボードなどの、電子黒板の発展系。一つの大きなスクリーンではなく、小さなスクリーンを組み合わせると無限のサイズにできるというもの。また、スクリーン一つ一つがiPadのように独立して取り外し、並び替えが、でき、会議や教育の場で、アイデアを出したり、答えを出すのに有効。ホワイトボードのアナログ版は、Googleの会議室でも使用されるなどの実績あり、また、既に販売実績あり。現在、このアナログ仕様のデジタル版を企画中。

Place Global (<https://www.placeglobal.com/>): ビーコンを使って様々な情報をスマホなどに発信したり、受信したりできる技術。聴覚障害学校で生徒に校内放送などの情報伝達や、危険区域の警告などに使用されている。また、観光名所で(例えば銅像の)、デジタルコンテンツの情報発信などにも使用されている。

Nube (<http://www.iotjournal.com/articles/view?13641>): ラテンアメリカ圏で使用されている個人宅用の天然ガスタンクのセンサーでスマホなどに情報を発信。ガスを供給する会社と提携して、必要なガスの供給を把握できるため、無駄な出張費が省けるし、在庫管理も計画的に行える、消費者側も常にガスの量を把握でき安心。

YaBeam (<http://yabeam.com/>): ビーコンなどのIoT機器から発信する情報をクラウドで管理。主に、(デジタル)コンテンツを既に持っている出版社と他の業界を繋ぐサービス。例えば、料理の本を出版する会社とスーパーが共同で、店内で特売をしている商品を使ったレシピを客のスマホなどにデジタル発信、他の材料の位置や値段を表示できる。料理本の宣伝と、スーパーの売り上げを高める可能性がある。客を呼びたい地方自治体が電車の駅から、観光名所やその他のデジタルコンテンツの情報発信などにも使用できる。(旅行ガイドの出版社と電車運営会社、自治体のコラボ)。旅先のホテルと近くのレストランのコラボなど(旅行ガイド、レストランのガイドブックの出版社、ホテル、レストラン)可能性は多様。

あと、コロラドではIoTに力を入れていて、TechIoT (Tech -R- IoT, トイザらスみたいな感じで、テックライオット)が新設され(<http://www.techriot.org/>)、全米国中からIoTのベンチャーを集めています。

お問い合わせ先: 大津賀 伝市郎 (D.Otsuga@EnConnect.org)

ADDRESS

PHONE

WEB

Fort Collins, Colorado, USA 80528

+ 1-970-660-4384

www.EnConnect.org